



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」
～ 認め合い、学び合い、共に育つ ～

<目指す児童像>

かしこい子 (知) 明るい子 (徳) たくましい子 (体)

コミュニケーションを図ることにより、

互いを認め、高め合い、ともに伸びる子

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページアドレス <http://osato-e.saitama-city.ed.jp/> メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

笑顔あふれる一年に

校長 書上 敦志

児童の皆さん、保護者並びに地域の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

本年は、戌（いぬ）年。

「戌」には「まもる」「植物が育っていき、花が咲き、実をつけ食べごろが過ぎた後、自分の実を落として、本体の木だけは守る」という意味があるそうです。1年に例えると11月にあたり、農作業もほぼ片づいた時期。後は厳しい寒さに対する準備のため、斧を携えて薪を取りに行く。「戌」は、その斧を二挺重ねた形が起源となっているそうです。そういう意味から、本年は、次のステップへの備えの年といえるでしょう。大砂土っ子一人ひとりが根気よく地道に力を蓄える1年となるよう願っています。



さて、1月2日はスーパームーンでした。スーパームーンとは、地球から見た月の円盤が最大に見えることだそうです。最小のときより14%大きく30%明るく輝くとされています。この季節は、空気が澄んで、漆黒の夜空に見事な満月が東の空から昇ります。お月様で、うさぎが餅つきをしている姿を大きく見ることができました。最近では、昔からの伝統行事である杵と臼で餅つきをする場面を見る機会が少なくなっている中、昨年末に地域の行事に参加させていただきました。つきたてのお餅の味は格別だったことでしょう。満足そうな子どもたちの笑顔を見れば伝わります。地域の方々が協力し合い、子どもたちのためにこのような環境を整えていただいていることに感謝申し上げます。是非とも、本物を見る機会、触れる機会を大切にしたいものです。「百聞は一見に如かず」また、「百見は一試に如かず」です。聞くより見る、見るより試す。何事も自分で実際に体験しないと、本当のよさや苦勞が分かりません。いろいろなことにチャレンジできる1年としたいですね。ところで、本年1月は、31日も満月となります。ひと月に満月を2度見ることができると「ブルームーン」と言い、セットで見ると幸せになれるそうです。また、月が赤銅色に染まる「皆既月食」も見られます。見逃せませんね。因みに、3月も2日と31日の2度、満月が見られるブルームーン。夜空を見上げる機会が増えそうですね。

保護者の皆様、地域の皆様、本年も子どもたちは、学校、家庭、地域と様々な場、様々な機会を経験を積み、成長していくことでしょう。それぞれの場面で、私たち大人が子どもたちのよき手本として範を示すとともに、子どもたちに寄り添いながら導いていけるようにご協力お願いいたします。創立145周年を迎える本年も、大砂土っ子一人ひとりが、夢いっぱい 笑顔いっぱいひとみ輝かせて学校生活を送れるよう、教職員一同全力で教育活動に努めてまいります。1月2日、スーパームーンに誓いました。

【学校教育ビジョン：「夢いっぱい 笑顔いっぱい ひとみ輝く大砂土っ子」の育成】